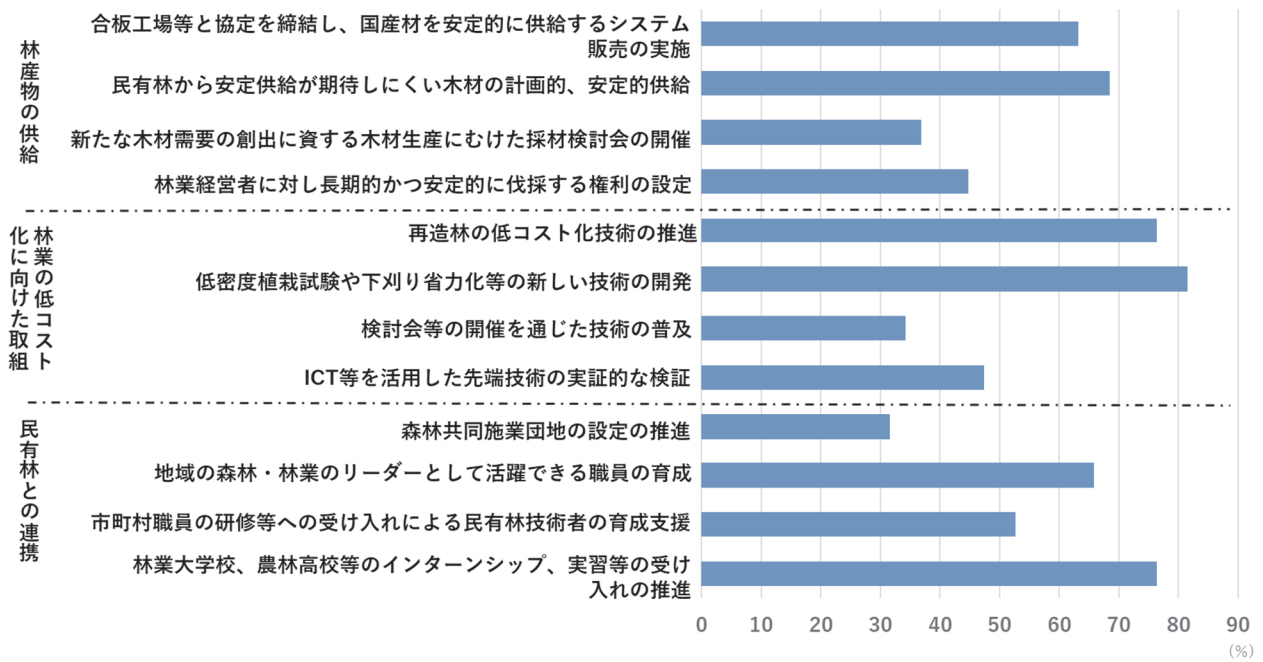


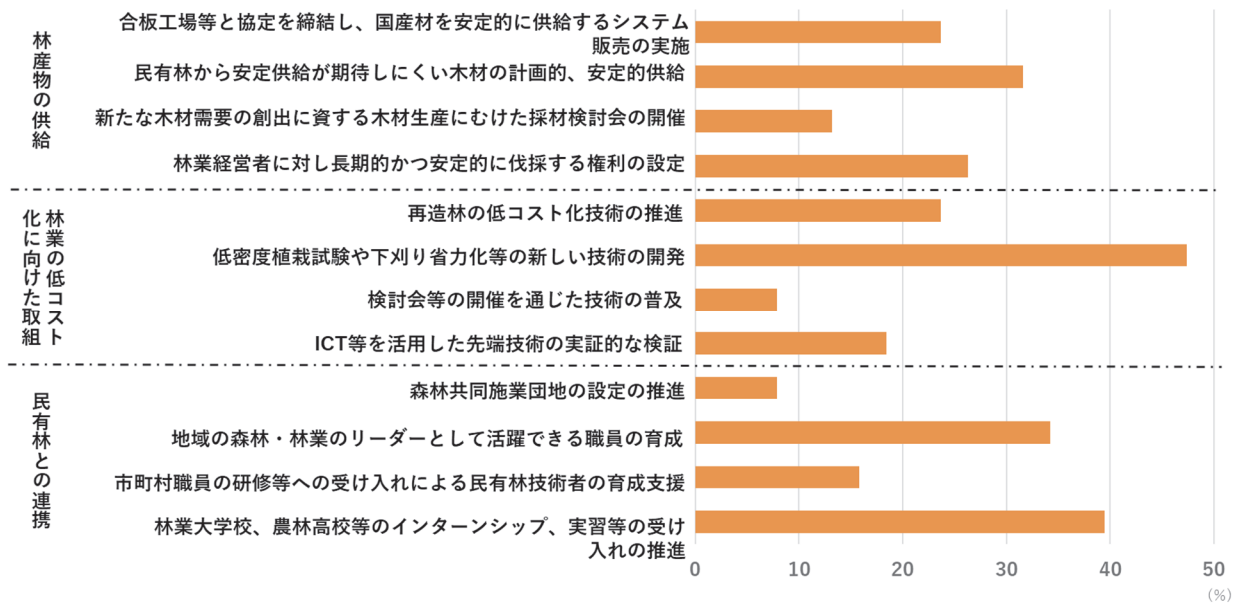
1. 林業の成長産業化への取組について

東北森林管理局では、公益重視の管理経営を推進するとともに、国有林組織・技術力・資源を活用し、民有林と密接に連携しながら林業の成長産業化に取り組んでいます。これらの取組を一層推進するために、「平成 31 年度東北森林管理局の重点的取組事項」を作成しています。その中に記載されている取組についてお答えください。

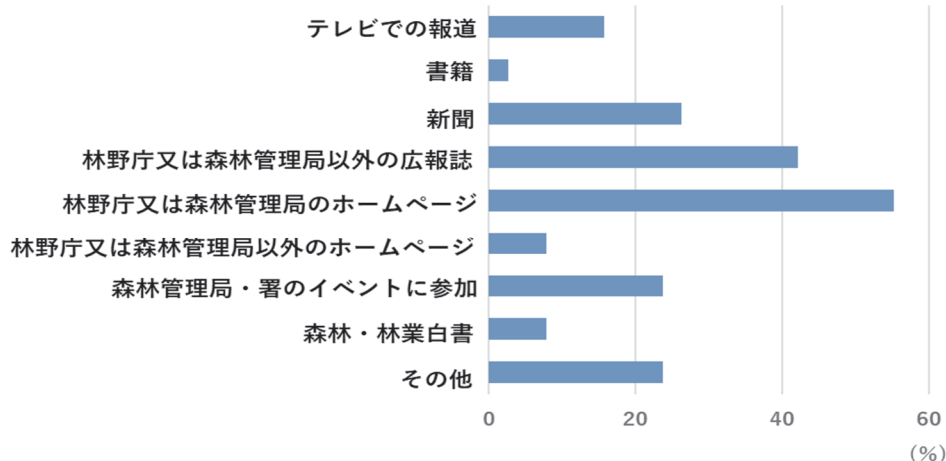
(1)①各取組について、取組内容を知っていますか(複数回答可)。



(1)②特に重視すべきだと思う取組はどれですか。



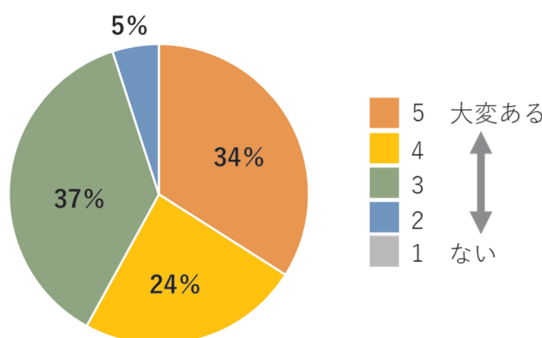
(2)どのような方法で情報を得ましたか(複数回答可)。



○その他で挙げられた方法

- ・国有林モニター資料

(3)国有林の地域振興における役割に対する興味関心を 5 段階評価で表すといくつか。



(4)さらに知りたい内容やご意見があれば教えてください。

○さらに知りたい内容

- ・職業としての林野事業を支える若い人々へのアピールはしているのか。
- ・人手不足はいずれの業種も抱えている問題だが、例えば外国人労働者は従事しているのか。
- ・伐採された国有林材は全て国内で利用されるのか、輸出されるのか。
- ・地域の森林・林業のリーダーとして活躍できる職員の育成や民有林の技術者の育成等、人材育成面について具体例が知りたい。
- ・管理が放置されてしまっている民有林の再生に向けての指導にどれくらい局は関わっているのか。各地域の森林組合の取組は現状どうなのか。
- ・時代の対応において多くの知識・技術力が求められる中で、市町村職員への技術の継承も課題となっています。職員においての人材育成についてどのようなことを行っているか教えてください。
- ・林業を題材にした漫画やアニメがあれば紹介してほしい。

○ご意見

- ・低コスト化はよく分かるが、人材育成のコストは下げてほしくない。そのコストが製品に影響することも仕方ないが、林野事業は地域の環境を守り維持していくために絶対必要なもので、高い人件費をかけてでもよい人材に来てほしい。
- ・国有林の地域振興とは一体何なのか今ひとつピンとこない。
- ・市域面積のほとんどが森林であるため、今後の地域活性のポイントは森林産業をどのようにするかにかかっていると思うので、これからの事業推進を強力にしてほしい。
- ・森林管理局の多様な取り組みのほんの一部を現地見学会や情報誌で学び、森林や環境への関心や理解が少し得られた。
- ・林業関係の仕事は山間部が主体となるが、一般人から見て馴染みが薄く暗いイメージがある。もっと若者に魅力のある職場にしていだきたい。林業高校に出向く、地域住民とのふれあい活動等実施してはどうか。
- ・当たり前を実感するためにも森林の多様な機能をタイミングよく広報してほしい。特に国土保全。

「1.林業の成長産業化への取組について」まとめ

林業の成長産業化への取組について知っているとの回答は6割となり、事業者や地方公共団体と連携する取組にも関わらず、現地見学会や毎月送付している資料により知っただけということが分かりました。重視すべきとの回答多かった取組は、「低密度植栽試験や下刈り省力化等の新しい技術の開発」、「林業大学校、農林高校等のインターンシップ、実習等の受け入れ推進」、「地域の森林・林業のリーダーとして活躍できる職員の育成」、「民有林から安定供給が期待しにくい木材の計画的・安定的供給」でした。林野事業の重要性から若者を含む人材の育成を重視し、若者に魅力のある職場にしてほしいという意見をいただきました。

国有林の地域振興における役割に対する興味関心について、興味関心があるとの回答は95%と高い一方で、国有林の地域振興とは一体何かという疑問もよせられ、さらなる情報発信が必要だということが分かりました。

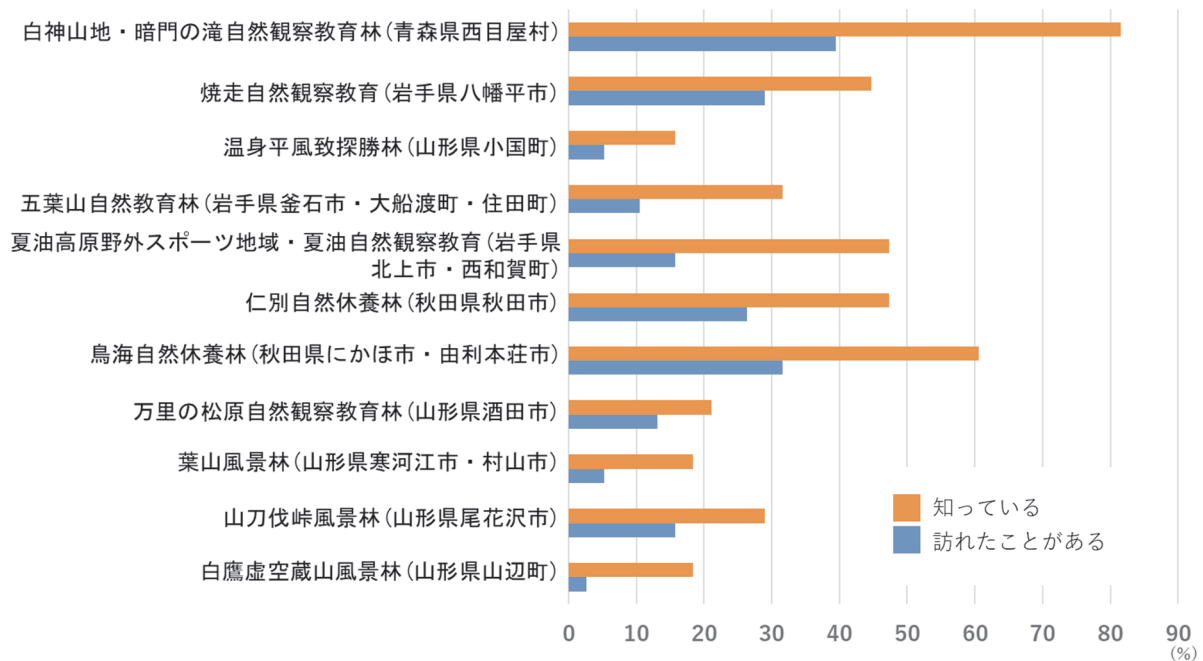
林業の成長産業化への取組を一層推進し、「伐って、使って、植える」という国産材利用のサイクルを構築することで森林資源を循環させ、林業、木材産業を持続的な産業として育成することで、地域の雇用確保と経済の活性化に貢献してまいります。

2. 国有林内にある観光資源の活用について

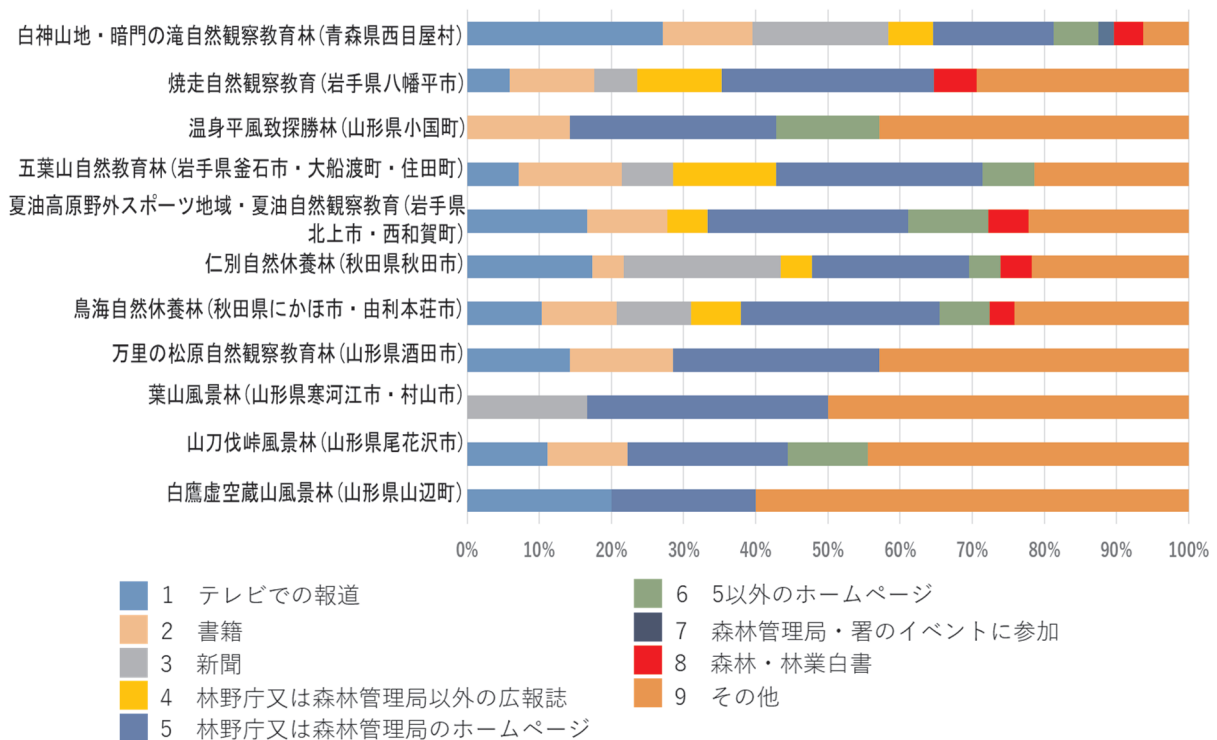
東北森林管理局では「レクリエーションの森」のうち、特に魅力的な自然景観を有する等の理由により選定したモデル箇所「日本美しい森、お薦め国有林」(東北森林管理局管内 11 箇所)において、これらの場所を今後一層観光資源として利用していただけるよう多言語による情報発信、重点的な環境整備等を行っています。このような国有林の観光資源について以下の問いにお答えください。

(1)①それぞれの箇所について知っていますか

②訪れたことがありますか。



(1)③知っている、または訪れたことがある場所について、どのような方法で情報を得ましたか(複数回答可)。



○その他で挙げられた方法

- ・仕事で使う情報のため自然と知っていた。
- ・観光案内所等で得られる観光情報より。
- ・地元だから知っていた。
- ・知人からの情報により。
- ・職場や所属団体等のイベント、旅行により。
- ・林野庁や森林管理局の広報誌。

(2)訪れたことがある場所について、訪れた目的と感想を教えてください。

○白神山地・暗門の滝自然観察教育林(青森県西目屋村)

【目的】

- ・観光、旅行として。
- ・自宅から近く、リフレッシュと身体を鍛えるため。
- ・世界遺産に登録されたため。
- ・朝日山系とのブナ林の違いを見たかったため。
- ・仕事で散策地に行かなければならなかったため。

【感想】

- ・アブやブヨが多かったが、水や森は綺麗だった。大自然を満喫するには手軽で(市街地からも意外と近く、散策自体もそんなに大変なものではないため)いいコースだと思う。
- ・結構バテてしまい、周りの美しさは覚えていない。
- ・美しかったが、装備をしっかり整えないと色々散策できないと思った。
- ・紅葉はブナの黄金が最高だった。
- ・景観がよくもう一度訪れたい。
- ・白神山地全体を見てないので何とも言えないが、個人的には朝日山系のブナの方がよかった。

○焼走自然観察教育(岩手県八幡平市)

【目的】

- ・観光、旅行として。
- ・居住地からアクセスしやすく何度訪れても自然や歴史を感じることができるため。
- ・溶岩流の様子を見たかったため。

【感想】

- ・自然の力のすごさを感じることができた。
- ・暗褐色の溶岩が一面に広がっており、見ごたえがあった。苔がかわいらしかった。
- ・特性のある景観・環境で楽しく見ることもできた。

○夏油高原野外スポーツ地域・夏油自然観察教育(岩手県北上市・西和賀町)

【目的】

- ・居住地から近く観光名所でもあり、関心があったため。

【感想】

- ・冬のスキー以外の時期もよいと感じた。
- ・特性のある景観・環境で楽しく見ることもできた。

○仁別自然休養林(秋田県秋田市)

【目的】

- ・イベントへの参加。
- ・居住地から近いため。
- ・近くのレジャー施設を利用したついでに立ちよった。

【感想】

- ・自然の中で参加者同士のレクリエーションは楽しく、森林博物館では森林に生息する生物の生態が勉強できて楽しかった。
- ・親子で楽しめる展示品や体験コースが沢山あり、散策コースなどを回ると1日楽しめる。

○鳥海自然休養林(秋田県にかほ市・由利本荘市)

【目的】

- ・観光、旅行として。
- ・居住地から近いため。
- ・イベントへの参加。
- ・夏場の避暑として。

【感想】

- ・整備されて歩きやすく、自然の素晴らしさに感動。身近な地域を知り学ぶことをもっと生活に取り入れる習慣を大切にしたいと思った。
- ・美しい鳥海の自然林を身近に感じながら良い汗を流して楽しかった。
- ・コースを散策し、神秘的な森を体験できる。
- ・涼しく眺めがよかった。

○山刀伐峠風景林(山形県尾花沢市)

【目的】

- ・ウォーキング大会へ参加。

【感想】

- ・奥の細道の松尾芭蕉が歩いた道として景観保存が大切にされていた。

○白鷹虚空蔵山風景林(山形県山辺町)

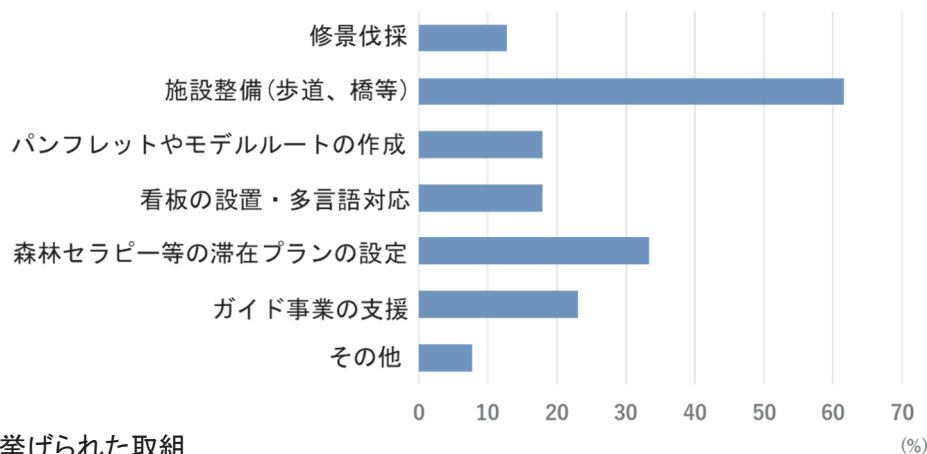
【目的】

- ・ハイキングクラブでの参加。

【感想】

- ・国有林であることを知らなかった。自然を保ちながら道路が整備されとてもよかった。

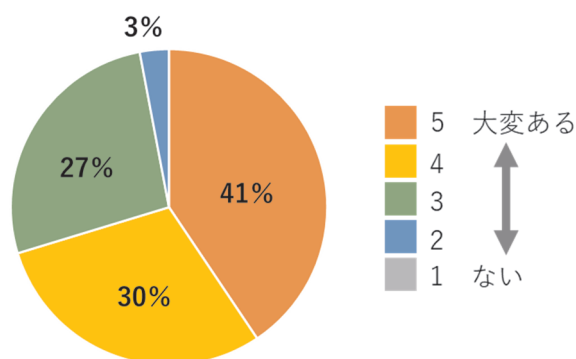
(3) 今後一層観光資源として利用していただくために、重要だと思う取組を選んでください(2つまで)。



○その他で挙げられた取組

- ・旅行会社と提携し定期的な健康ツアーを開催してはどうか。

(4) 国有林の観光資源の活用に対する興味関心を5段階評価で表すといくつですか。



(5) さらに知りたい内容やご意見があれば教えてください。

○さらに知りたい内容

- ・保養施設について知りたい。
- ・宮城県はなぜおすすめの国有林がないのか、いきさつや事情を知らずがっかりする県民もいるのではないか。
- ・様々な支援を行ってきたと思うが、その結果どのようなようになったのか。
- ・観光としてどのように宣伝しているのか、家族で楽しめるプランはあるのか、今後どのように観光として利用していく予定なのか。

○ご意見

- ・コースやそういった観光地があること自体が認知されておらず、山好きの一部の方しか知られていない場合が多くあると思う。若い方にも知ってもらえるような、写真映え、動画映えといった新しい文化にも適応するとより良くなるのでは。学校の遠足や自然教室等で訪れて、知ってもらう仕組みづくりが必要。
- ・ここに限らず、木道など老朽化した箇所は修繕するなど、安全に配慮してほしい。
- ・訪問のしやすさで、親しみもわくと思う。現地の歩道整備とともに現地に行くまでの交通も整備されるとなおよいと思う。
- ・年配者は美しい森をイメージして色々知っているようだが、若年層にも知ってもらう宣伝、子供が行きたくなるようなアピール活動を市や学校でしてほしい。
- ・自然景観の成立ちや資源としての魅力を伝える工夫に歴史的背景が加われば観光としてグレードアップすると思う。
- ・国内外にもおおいにPRして利活用が増えるようにできればいい。
- ・景勝地が県境で山間部を通行することから、道路整備が肝要だと思う。
- ・国有林であることや、美しい森であることなど、訪れる前は知らなかったことが多い。
- ・観光レベルをコースやエリアごとに設定して、過不足ない整備やガイドが好ましい。
- ・ビジターセンターなどと連携してはどうか。
- ・国有林だけでなく周辺の観光資源とリンクしたパッケージでアプローチするべき。
- ・国有林をあえて観光地とする必要はないと思う。多くはそのままがいいと考えるが、それよりも今ある施設の整備を継続できるようにしてもらいたい。

- ・人間の観光のために森林にいる生物の生命を脅かすことがあってはならない。
- ・素材生産現場が観光用登山道等と隣接する場合、作業終了後に考慮が必要ではないか。
- ・旅行会社との提携は難しいのか。ストレスが多いと言われている社会で「自然と接し感動を得る癒しの世界」に、あまり山と接しない都市部の若い人たちを呼び込めないものなのか。国有林を広く知らしめる機会と地方地域の活性化に結び付けられればと願います。

「2.国有林内にある観光資源の活用について」 まとめ

東北森林管理局管内 11 箇所の「日本美しい森、お薦め国有林」について、8 割以上の方が知っているという回答した場所がある一方で、2 割以下の方しか知らない場所もあり、認知度にばらつきがありました。知っている、訪れたことがあるとの回答が多かった場所は「白神山地・暗門の滝自然観察教育林」、「鳥海自然休養林」でした。知っているまたは訪れたことがある場所の情報の入手方法について、知っている割合が高い場所は様々な媒体から情報を得ているのに対し、知っている割合が低い場所は居住地が近い、知人からの薦め等によるものであり、知っている割合の低い場所の認知度を上げるためには東北森林管理局としてより積極的な情報発信が必要だということが分かりました。

今後一層観光資源として利用していくためには、施設整備が重要だとの回答が 62%で、安全に配慮した施設整備を重視する意見が多く、またパンフレットやモデルルート作成、滞在プランの設定、ガイド事業の支援など、楽しみ方を分かりやすく提示することが求められていることが分かりました。さらに、地域の文化や歴史的背景との関係を加える、子供たちへの環境教育の場にするなど、利用方法について具体的なご意見をいただきました。

国有林内にある観光資源の活用に対する興味関心について、興味関心があるとの回答は 97%と高かったものの、各所を訪れたことがある人数は多いとは言えず、訪れてもらうための取組が求められています。

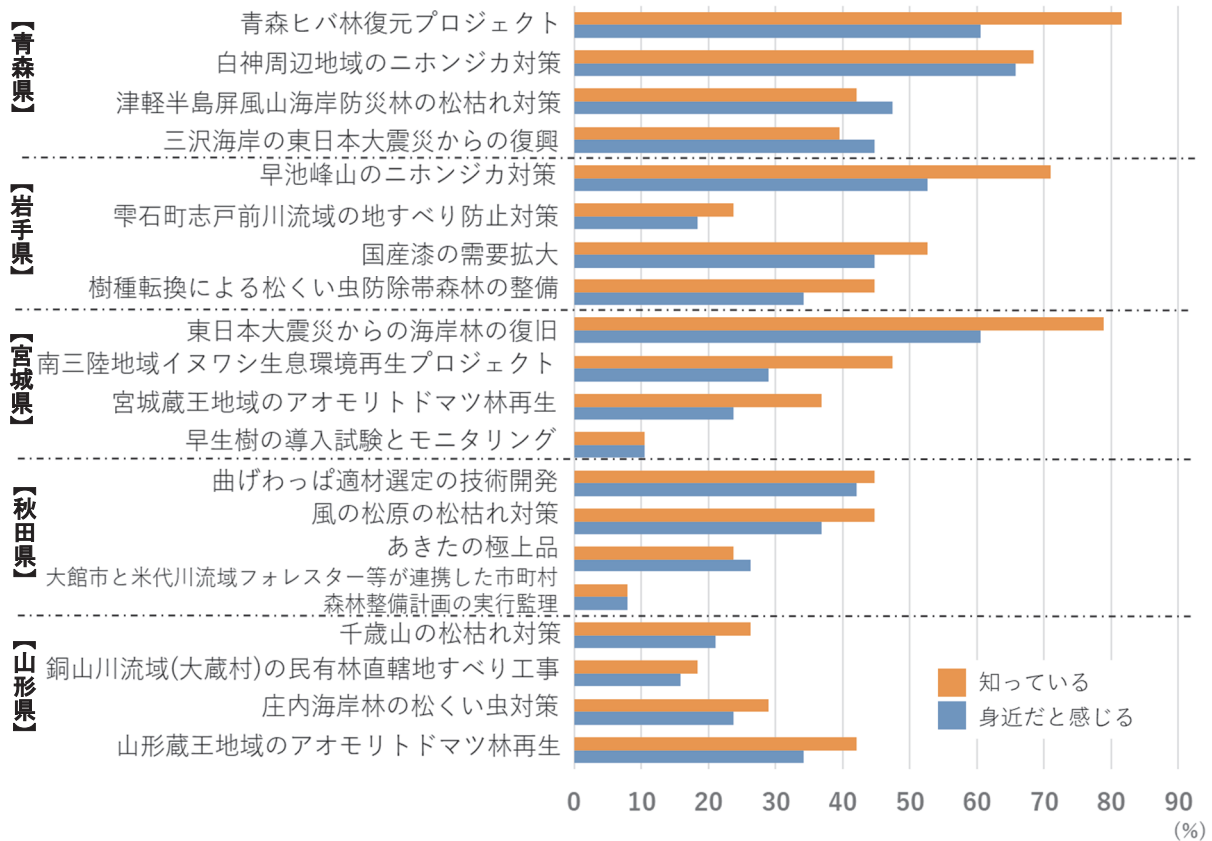
豊かな自然環境を国民の保健・文化・教育的利用に広く提供していくとともに、自然環境の保全に十分配慮しながらそれぞれの状況に応じた施設整備を計画的に行ってまいります。

3.各県における取組について

東北森林管理局は福島県を除く東北5県からなり、地域ごとに取り組んでいる事業があります。各県ごとの重点的な取組について以下の問いにお答えください。

(1)①各県の取組について知っていますか

②①で知っているとは回答した取組について身近な取組だと感じますか。



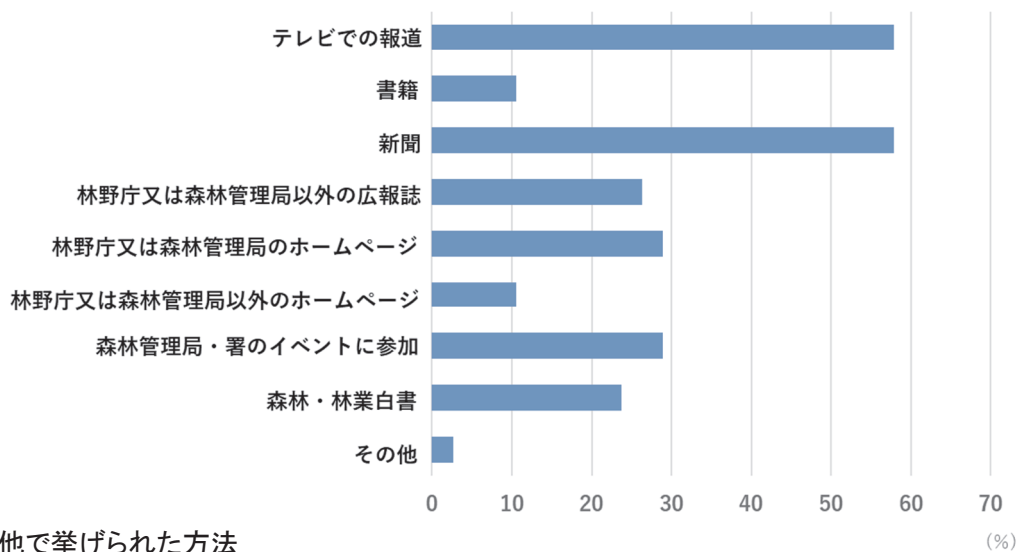
(1)③身近だと感じる理由について教えてください。

各県の取組	身近だと感じる理由
青森ヒバ林復元プロジェクト	県民にとって身近な樹木であり、誇りでもある。日常での木の利用や建築材として興味関心があるため。ニュース等で目にするから。今回の国有林モニターでの現地見学会で実際に見たから。
白神周辺地域のニホンジカ対策	仕事で関わっているから。生態系に興味があるから。居住地に近く、白神山地が身近な存在であるため。世界遺産であり、国民にとって重要な場所だから。在来種との共存は永遠のテーマだから。隣県に住んでいて、ニホンジカ被害が広がらないか心配なため。

各県の取組	身近だと感じる理由
津軽半島屏風山海岸防災林の松枯れ対策	居住地から近く、ニュース等でも目にするから。防災だけでなく景観にも大きな影響があり、海岸林は住民と密接な関係があるから。実際に訪れたことがあるから。
三沢海岸の東日本大震災からの復興	居住地から近いから、ニュース等でも目にするから。復興は人々の支えであり、最も優先すべきことだから。
早池峰山のニホンジカ対策	ニホンジカによる被害が拡大し、民家の周り、隣県まで影響しているから他人事ではない。百名山にも選ばれている山での被害だから。モニターの現地見学会で実際に見たから。
雫石町志戸前川流域の地すべり防止対策	減災・防災に対して興味関心があるから。人命に関わることだから。ニュース等で目にするから。
国産漆の需要拡大	伝統工芸品でよく使われていて、日本の重要な文化だから。身近に職人がいるから。ニュース等で目にするから。
樹種転換による松くい虫防除帯森林の整備	全国的にも問題となっており、被害が拡大する可能性があるから他人事ではない。
東日本大震災からの海岸林の復旧	居住地から近く、身近に復興が行われているから。被害が甚大であったから。ニュース等で目にするから。実際に震災後の海岸林を見たから。「みどりの東北」や署からの情報でみたから。
南三陸地域イヌワシ生息環境再生プロジェクト	イヌワシに興味があるから。ネイチャーセンター友の会の会員として関わっているから。生物多様性に関心が高く、絶滅危惧種の保護は重要だと思うから。次世代のためにも昔から日本の自然生態系を維持していくことが重要。
宮城蔵王地域のアオモリトドマツ林再生	地元住民にとって蔵王は身近な存在であり、その樹木を守りたいから。
曲げわっぱ適材選定の技術開発	秋田県民にとっての宝であり、伝統技術の継承は重要であるから。地元産業の育成・発展に必要なから。日常での木の利用に関心があり、お弁当箱としても有能であるから。
風の松原の松枯れ対策	地元住民にとっての自然景観を守るため。防災はもちろん景観にも大きな影響があるから。ニュース等で目にするから。みどりの東北等広報誌で目にするから。
あきたの極上品	希少価値品を次世代につなぐ準備が重要であり、地域活性化は必要だから。みどりの東北等広報誌で目にするから。
千歳山の松枯れ対策	千歳山は地域住民にとって憩いの山だから。ニュース等で目にするから。
銅山川流域(大蔵村)の民有林直轄地すべり工事	行政視察で訪れたことがある。生活に密着した工事だから。

各県の取組	身近だと感じる理由
庄内海岸林の松くい虫対策	庄内の海は山形の宝であり、生活や産業に欠かせないから。防災はもちろん、地元住民にとっての自然景観を守っているから。ニュース等で目にするから。
山形蔵王地域のアオモリトドマツ林再生	地元住民にとって身近にあり、重要な観光資源として樹氷を守りたいから。地元住民にとっての自然景観を守るから。

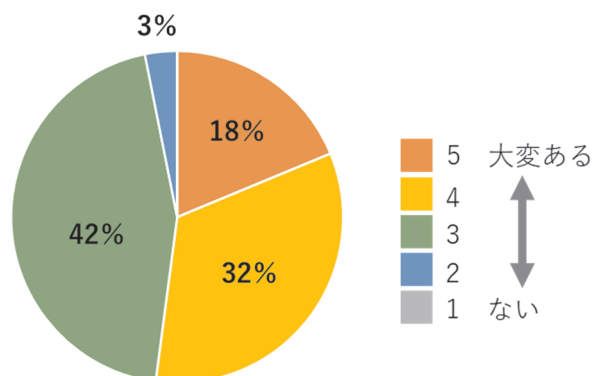
(2) (1)で選んだ取組について、どのような方法で情報を得ましたか(複数回答可)。



○その他で挙げられた方法

- ・県の情報誌。
- ・モニター資料。
- ・知人からの情報。
- ・林野、森林管理局の広報誌。

(3) 各県ごとの取組に対する興味関心を5段階評価で表すといくつですか。



(4)さらに知りたい内容やご意見があれば教えてください。

○さらに知りたい内容

・市町村森林整備計画とは、どういう位置づけでなされ、どのように活用されているのか基本なことが分からない。

○ご意見

・住んでいる県でも知らない取組があるということは、一般の方がそれほど興味がなく、自らの身に降りかかってくるものではないかと思っていることが多いからではないか。

・やっている取組は全て国民生活にとって大切な事業ばかりであるが、身近に感じないものもあり少し残念に思う。

・実際に関係のない取組もあると思うが、整備することによって得られる安全性、しないことによる危険性を周知する必要がある。

・ニホンジカの生息区域が広がっているようだが、主だった対策が講じられていないように思う。ジビエにする等無料提供すれば感心が向くのではないか。

・実際に被害の様子を見ると対策も身近なものになる。エコツアーのように、ツアーがあるといいと思う。

・自分の県について特に理解を深めたい。

・岩手県民として、早池峰山のニホンジカ対策と、志戸前治山工事について早急に進めてほしい。

・取組について一般やモニターも交えた見学会など、一度限りのイベントではなく、継続可能な取り組みを希望する。

・モニターの現地見学会で見たものは関心が高まる。百聞は一見に如かずだと思う。

・取組に関する良書があればほしい。

・千歳山の松の植樹に参加した。市民にもっとアピールして松の緑を眺めたい。

・曲げわっぱの技術開発等地場製品の開発は極めて有効だと思う。

「3.各県における取組について」まとめ

昨年度、本年度の国有林モニター現地見学会で取り上げたニホンジカ対策やヒバ林復元プロジェクトについては認知度が高く、また実際に見たことで取組を身近に感じる事ができたというご意見をいただきました。宮城県の東日本大震災はニュース等で取り上げられることが多いことから、身近な取組として感じる方が多い結果となりました。

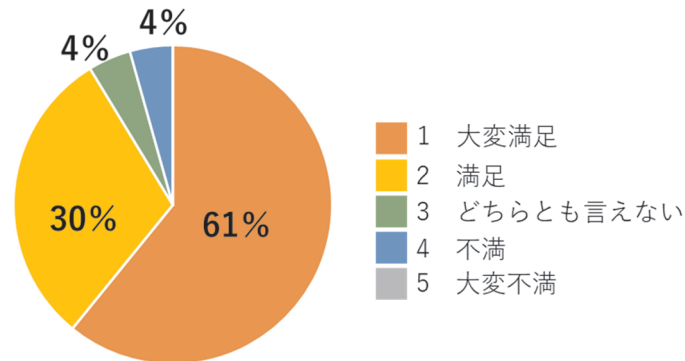
各取組について、居住県の取組を知っている割合は 69%、身近だと感じる割合は 59%、他県の取組を知っている割合は 35%、身近だと感じる割合は 29%となりました。このことから、取組の認知度や身近だと感じる大きな要因は、居住県であるか否かだということがいえます。情報を得た方法、自由記述の結果から、問題が自身に降りかかる可能性があること、地元紙やニュース等で目にする機会が多いこと、地元に対する思いが居住県の取組に対する認知度の高さや身近と感じるかに大きく影響していると考えられます。

管内は東北 5 県にまたがり、自然環境や課題は地域によって異なることから、地元の方の取組に対する関心の高さや理解は重要なことです。今後も、地域の方はもとより、さらに広く知っていただけるような情報発信に努めてまいります。

4.現地見学会について

7月26日(金)に開催した現地見学会について、ご意見等をお聞かせください。

(1)現地見学会全体の満足度について教えてください。差し支えなければ理由もお聞かせください。



○理由

【大変満足】

- ・青森ヒバ林を見るのは初めてで、学ぶことが多かったから。
- ・実際に現地を見ることができて、故郷の素晴らしさを改めて知った。
- ・現地を見学して国の取り組みを体感することができたため。
- ・新幹線の遅れがあったが森林博物館を見学できてよかった。
- ・職員の青森ヒバに対する思いが伝わったから。
- ・よく理解できた。見学会の設定準備が丁寧だった。
- ・全員時間やルールを守り予定通りの時間で終わったから。
- ・青森ヒバの存在を知らなかったのので、現物を見ることにより一層ヒバの性能や生命力のすごさに魅力を感じた。
- ・写真やニュースで見聞きした「青森ヒバ」に直接触れる機会をいただいた。
- ・ヒバ純林に自然の力を感じた。

【満足】

- ・電車の遅れに対する配慮に感謝します。
- ・突発的な事案に対して今一歩踏み込んだ想定案があってもよかった。
- ・時間、内容的にも適切だった。

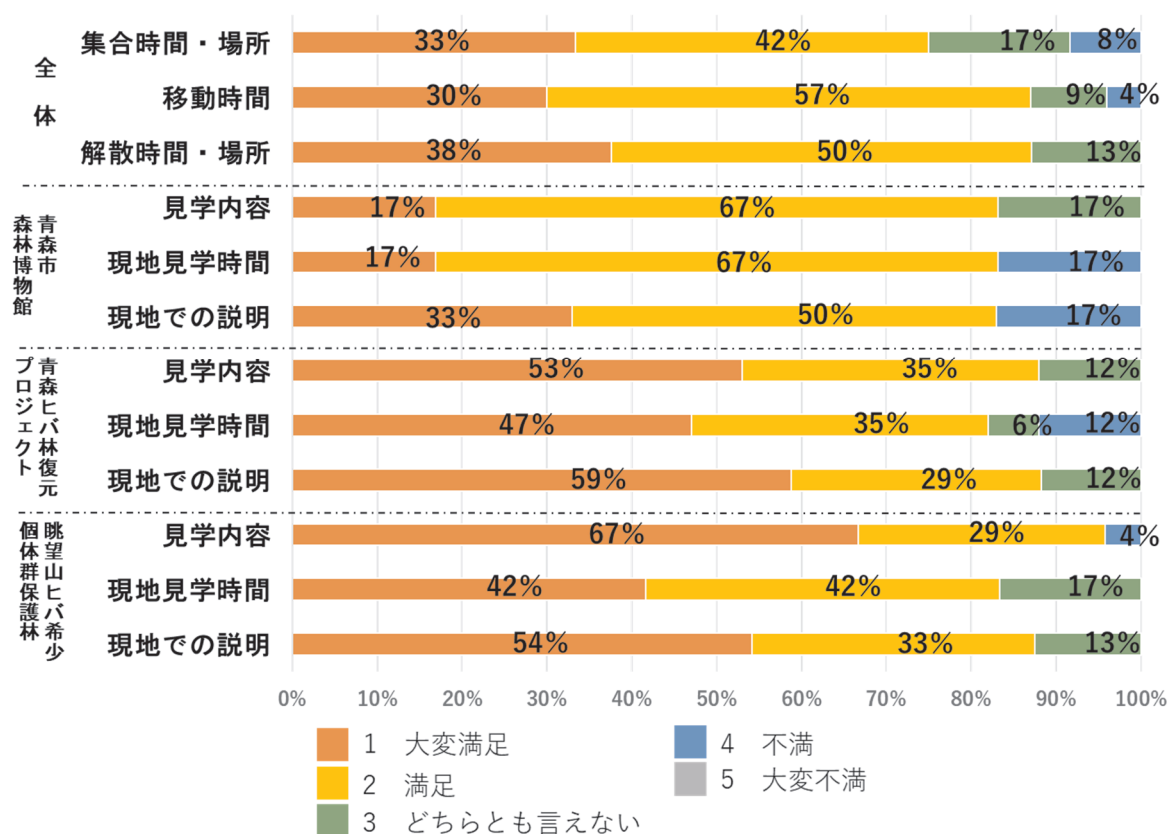
【どちらともいえない】

- ・開催時期を暑くなる前にしてほしい。

【不満】

- ・見学時間が短かった。もう少し座学で中身の濃い説明がほしかった。

(2) 当日の見学行程について、満足度を教えてください。



○全体について(自由記述)

【集合場所・時間】

- ・参加可能な場所・時間で集合場所も分かりやすかった。
- ・もう少し早めてもよかった。
- ・遠方からの参加で宿泊を余儀なくされた。

【移動】

- ・日程をこなすのにちょうどよかった。
- ・2箇所とも30分圏内の移動時間で、車内の説明時間もとれてよかった。
- ・新幹線の遅れにより、午前中の移動は混雑し息苦しかった。

【解散場所・時間】

- ・帰りの新幹線時刻を考慮いただいた時間設定だった。
- ・明るいうちに帰路につくことができた。
- ・予定より早く解散できたので、安心して帰りの切符を購入できた。
- ・もう少し見たかった。

○青森市森林博物館について(自由記述)

【見学内容】

- ・展示や建物は興味深かった
- ・大変勉強になった

【見学時間】

- ・仕方がないが短かった、もう少し長くしてほしかった。

【現地での説明】

- ・仕方がないが早足だった。
- ・案内人の説明が分かりやすかった。

○青森ヒバ林復元プロジェクトについて(自由記述)

【見学内容】

- ・青森ヒバとヒノキの違いを教えてもらい家族にも伝えた。
- ・青森ヒバの再生には時間がかかり、まだ手探りの部分が多いことは伝わった。
- ・解説が分かりやすかった。
- ・最初どれが青森ヒバなのか分からず、最初の説明を丁寧にしてほしかった。
- ・「伏条更新くらい環境でも枯れない」の言葉が特に心に残った、早く育つ方法はあるのか。
- ・スギなどと共存している光景を見ることで悪環境のなかでも絶え抜く青森ヒバの生命力を感じた。
- ・あまりにも時間的に遠大な計画であり、数年・数十年先の展開が想像しにくい。

【見学時間】

- ・短い。
- ・モニターには十分、丁寧だった。
- ・あまり疲れることなく見学できた。

【現地での説明】

- ・同じことを聞いても丁寧に答えてくれた。
- ・具体的な説明で分かりやすかった。
- ・太宰治の小説の一説を紹介しながら説明してくれたり、工夫が感じられた。
- ・署長さんをはじめとする熱い説明に暑さを吹き飛ばすほどだった。
- ・参加者もたくさん質問をしていたのでいろいろな説明が聞けて勉強になった。
- ・非常に解りやすく理解できた。

○眺望山ヒバ希少個体群保護林について(自由記述)

【見学内容】

- ・青森ヒバの極相林を肌で感じる事ができて貴重な体験だった。
- ・実際青森ヒバの保護林を見ることができてよかった。
- ・青森ヒバの有能ぶりに魅了された。
- ・空気が澄んで虫もいなくてヒバの生命力を感じることができた。
- ・青森ヒバとヒノキの違いがよく分かった。

- ・取組に興味をもてた。
- ・かなり急勾配の坂で正直きつかった。あれ以上登るようであればちょっとためらったかもしれない。高齢者にはきつい。
- ・長い年月を息づき成長した青森ヒバ林に接し感動。

【見学時間】

- ・暑さで登るのが辛かったが、現地で得られるものは多かった。
- ・十分に見学することができた。
- ・もう少し長くてもよかった。
- ・散策がすこぶる気持ちよかった。
- ・山の上り下りがあり、年配の方は体力的にきつい方がいた。
- ・時間的にはちょうどよいが、折角なら眺望山の遊歩道も少し歩いてみたかった。

【現地での説明】

- ・声が遠かった。
- ・線路についても教えていただき興味深かった。
- ・青森ヒバの生態についての説明が分かりやすかった。
- ・専門用語は事前に説明してほしい。
- ・ギャップが何だか分からなかったが現地をみて分かった。
- ・移動しながらの説明が少ないと思ったが、個別に質問できてよかった。

(3) 現地見学会についてご意見・ご感想等があれば教えてください。

- ・青森県に住んでおり、山や森に関する仕事をしているが、知らないことが沢山あった。また実際に青森ヒバの葉や材のにおい、手触りで文字だけではない情報を知ることができて大変満足している。
- ・自分の知らないところでヒバも管理している人も一生懸命だった。自分なりに守っていきたい。
- ・他県を見たいと思っていたが、山に感動した。人の踏み入っていないところでひっそりと成長している事と、それを見守る職員に敬意を表したい。
- ・自分では気付くことのない点をたくさん教えていただき勉強になった。青森ヒバを育てるには長い時間が必要だと体感できた。
- ・青森ヒバの名前や香りが良いという認識しかなかったが、保護林を見学して生態を知ったことにより、青森ヒバが好きになりました。
- ・突発的な事案(新幹線の大幅な遅れ)に対し、対応の仕方を明確にしてほしい(対応の可否等)。
- ・青森ヒバ林復元についてとても身近に感じ勉強になったし、大切に育てていかないといけないと実感した。説明もよかった。
- ・この時期山を上り下りするのはつらい部分もあったが、熱い説明に暑さもふっとんだ。森林鉄道跡も見せてもらえてうれしかった。明治 42 年からあったとはびっくりした、それだけ必要性が高かったということだろう。
- ・青森ヒバについて再認識できた。
- ・遅れての参加になったが、職員の方の親切な対応で森林博物館が見学できて有意義に過ごせた。

- ・青森ヒバについて大変いい勉強ができた。ぜひうまく世代交代ができて自然の力で循環し、生産活動がうまくいくといいと思う。
- ・青森ヒバを守る取組について分かりやすく説明してくれた。ヒバ製品をもっと見たかった。
- ・青森ヒバ林の中は、蒸し暑いにも関わらず、青森ヒバの樹精なのか、蚊などの虫がいなかった。スギとは違う、非常に狭く成長の遅い年輪からも、強靱な青森ヒバ材を理解しました。

「4.現地見学会について」まとめ

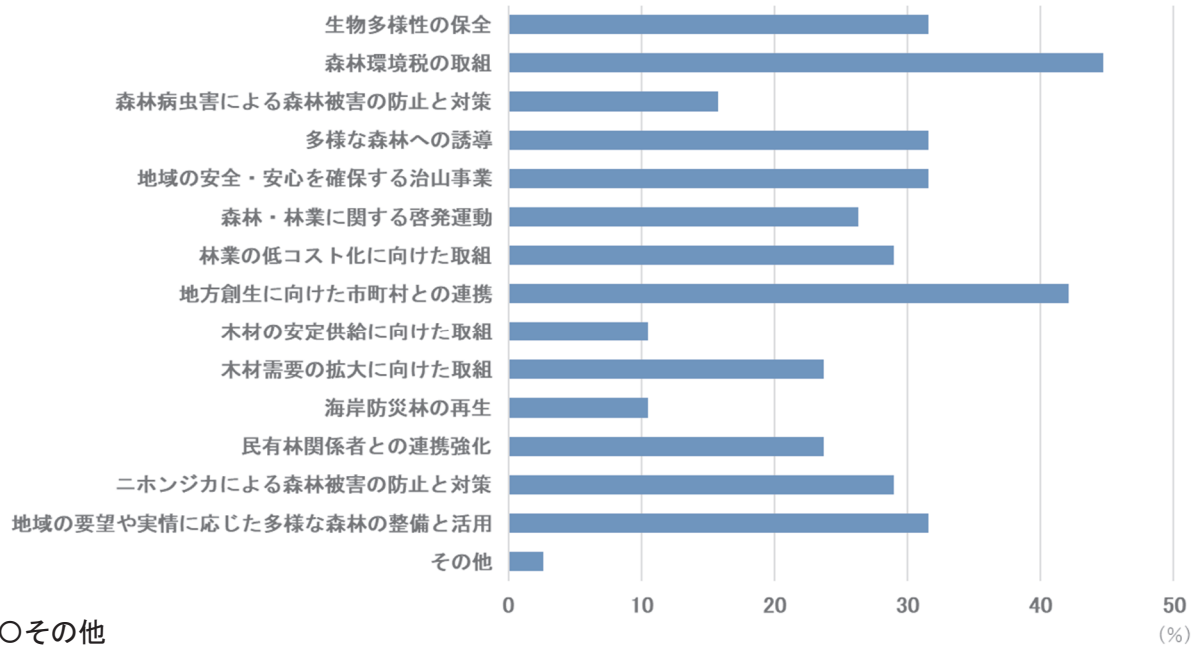
現地見学会全体について、「大変満足」「満足」の割合は 91%と多くの方に満足していただくことができました。青森ヒバを初めて見た方も多く、青森ヒバの生態やその復元に向けた取組に興味を持っていただくことができました。

一方で開催時期を暑くなる前に早めてほしい、見学時間が短く、座学で中身の濃い説明がほしいといったご意見をいただきました。開催時期や内容について今後の参考にさせていただきます。

5. 今後の活動について

東北森林管理局でモニター会議を開催いたします。以下の問いにお答えください。

(1) モニター会議で議論したい事項について選んでください(複数回答可)。



○その他

・観光資源としての森の活用。

(2) モニター会議になにかご要望があれば教えてください。

- ・できるだけ時間をとってほしい。
- ・特定の分野に関することよりも、森林・林業について幅広く考えていけるようなテーマがいい。
- ・治山事業について、問題点や課題について考えたい。
- ・森林関係に疎いため、男女や詳しい人とビギナーを分けるなどの配慮があると積極的に会議への参加ができそうです。
- ・議題内容が多岐にわたる場合、資料の何月号等熟読するポイントを知らせてほしい。
- ・毎回の林野やみどりの東北にて提供される情報を理解できるような時間を設定してほしい。
- ・会議前に1カ所でも見学したい。
- ・森林管理局としてモニターに聞きたいことはあるか。
- ・昔から森林作業は危険なイメージがあります。それを維持し守っている作業員たちの働き方や安全性への取り組みも重要であり、後継者の育成のためにも大きな課題だと思います。直接国有林作業へ携わる人材との実状意見交換もあればいいかと思います。
- ・国有林モニター同士で交流できる機会が欲しい。
- ・日本の林業がしばらく低迷していたのは、木材供給のコストが高く、保育作業の労働力を確保できないまま外国産の木材になってしまったからなのではないでしょうか。林業が軽視されれば国土そのものが荒廃してしまいますのでその問題解決はこの10年くらいの間に対策しないと手遅れになってしまうと思う。国有林の伐採が最近多くみられますので植林はどうかのらうと思っていました。